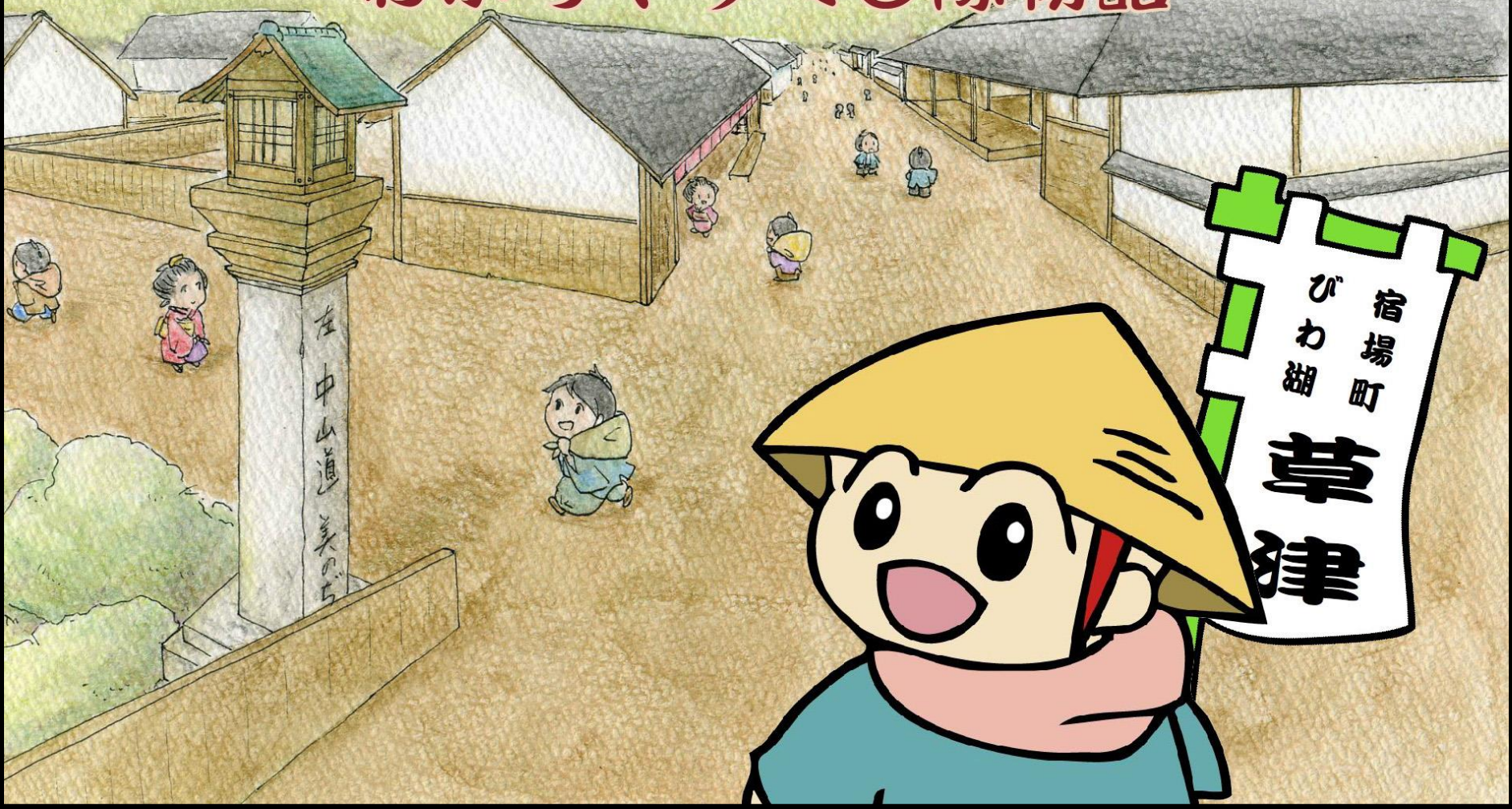


草津市都市計画制度

わかりやすくし隊物語



この物語の登場人物とあらすじ

主人公 たび丸

草津市観光マスコットキャラクター
たび丸



たび丸の弟
とど丸



第1話 たび丸、故郷に帰る

10年ぶりに故郷の草津に帰ってきたたび丸。
実家（まんじゅう饅頭屋）に居場所がなくなり、仕方なく草津川の堤防を歩いていて、ふとまちなみを見てみると、まちがきれいに分かれていることがわかった。それを疑問に思うたび丸。物知りのばんちゃんが登場し、その理由を教えてくれる。たび丸、宿場町に人が集まる方法を考え、みんなが足を止めるような名物を作ることを思いつく。

もの知りの
ばんちゃん



本当の歴史を
教えてくれる
くさつ博士



第2話 たび丸、幻の巨大工場

新しい饅頭を考案するたび丸。

たいへん評判が良く、売上で超高層の饅頭工場と自室を作ろうと、実家の増築を試みるが、建築の伝道師サネッティが登場し、建築に対する様々な規制のため、街中にあるたび丸の実家では実現できないと分かる。街中を離れ、広いところに家を建てようと思いつく。

建築の伝道師
サネッティ



三大神社の
近くに住む姉妹

五月 藤



第3話 たび丸、恋やつれ

広い土地に建つ家はどんな風に建っているのだろう。たび丸が常盤へ散歩がてら見に行くと、びわ湖でおぼれている五月を助け、姉の藤にひとめぼれ。殿様に代々奉公している東家からこの話を聞いた殿様、たいそう気に入り、殿様は助けたお礼にと広大な土地を授ける。たび丸、家を建てようと思ってみるが……。



役所の
こまっちゃん

第4話 たび丸、 故郷の景観を想う

お藤のお城に奉公に出ることが決まってしまって、たび丸はガックリ。そんなとき、まんじゅうの評判をきいたお殿様から呼び出され……。少しでも気が楽になればと、まんじゅうを献上させる。帰り道、たび丸は湖岸からの風景を見て、高い火の見櫓が邪魔で風景が台無しになっている。うなだれるたび丸。そこに漁師のゲンゴロウとケインが登場し、景観について熱く語り、たび丸景観について考える。

湖上で渡しをする
ケイン ゲンゴロウ



第5話 たび丸、まちをつくる

『あたらしい』まちづくりをし、今のまちのように新たに人が集まる場所を作れと、殿様から『区画整理』をするよう命じられる。たび丸、引き受けたものの、何から手をつけてよいのやらわからない。きれいな水が湧き出るといふ玉川のヒデ爺から助言を受けつつ、よりよいまちとしての『ルール（地区計画）』を作ることなどを教えてもらう。

玉川の
ヒデ爺



第6話 たび丸、 タヌキにだまされる

花見でにぎわう夜の草津川堤防。たび丸、
区画整理でタヌキの住処を壊してしまう。
タヌキが子どもに化けて出て、たび丸に
区画整理によって緑が少なくなっていく
こと、山がなくなることを訴える。

たび丸、タヌキに気づき、心打たれ、
たぬきやま
狸山を新たに造成する。
タヌキからお礼をもらうも、
後に大変なことに……。

緑を愛する
たぬき兄弟



第7話 たび丸、 夢のまちづくりプラン

城下町もでき、区画整理も無事完了し、殿様
から召し抱えたいと言われるたび丸。殿様は、
区画整理できれいな道や整理されたまちに人が
集まり、まちがよくなっていくと、土地の値段
が上がり、それにより新たな『もうけ』を画策
していた。それに気づいたたび丸は、みんなの
意見を聞いた都市計画指南書（マスタープラン）
を作る。たび丸はもっといろんなまちづくりを
見てみたいと思い、再び旅に出るのであった。

食いしん坊
しげ丸

第8話 たび丸、 再び故郷に帰る

さらに10年が過ぎ、ふたたび草津に戻るた
び丸。みんなで進めたまちづくりも一段落。ま
ち周辺は賑わっていた。殿様に謁見したたび丸
は、大名が泊まれるよう、大きなはたごを作れ
と殿様に命じられる。周辺の町家を説得し、意
見を取り入れながら、はたご（草津宿本陣を完
成させる。季節は春、草津川の堤防には桜が満
開で、東海道沿いは祭りのにぎわっており、登
場人物が行列になって次々と東海道を歩く。後
の『草津宿場まつり時代行例』の原型となる。

市の花
アオバナ

